

株式会社 dinos

サステナビリティ レポート 2024

SUSTAINABILITY REPORT 2024



CONTENTS

サステナビリティ トップコミットメント	3
ブランドメッセージ	4
サステナビリティビジョン2030	5
サステナビリティビジョン2030 2024年度取組み状況	8
• 全社的な取組み	8
• 2030年コミットメントの進捗状況	9
• 重点領域「健やかさ」を広げる取組み	10
• 重点領域「多様性」を応援する取組み	12
• 重点領域「自然環境」を持続可能にする取組み	14

※本レポート(対象期間：2024年4月～2025年3月)は、株式会社 dinos のサステナビリティに関わる活動をステークホルダーの皆さまに共有することでご意見等を取り入れ、さらに当社の活動を発展させていくことを目的として発行しています。

サステナビリティ トップコミットメント



お客様の“よりのしい暮らし”のため、 持続可能な未来の実現に貢献していきます。

当社は1971年の創業以来、ファッション、家具・インテリア、美容健康、食品などさまざまな商品・サービスを提供する総合通販企業です。お客様のくらしの困りごとやニーズに寄り添い続けてきたからこそ、お客様が毎日のくらしを楽しんだ先に、よりよい地球の未来があるような商品・サービスの提供が使命だと考えています。

その使命を果たすべく、私たちは2021年に「サステナビリティビジョン2030」を策定し、3つの重点領域「健やかさ」「多様性」「自然環境」を設けました。2024年度も環境負荷を軽減する素材を使用した商品企画や脱炭素を目指した「ディノスの森」の植林活動などに継続して取り組んでいます。

「健やかさ」ではお客様ごとに異なるさまざまなウェルビーイングを高めるため、心身の健やかさを広げる商品・サービスを提供しています。また、当社はおお客様の健康に貢献するためには、従業員一人ひとりが心身ともに健やかでウェルビーイングであることが重要だと考えています。従業員が働きがいと成長を感じ、いきいきとパフォーマンスを発揮できるよう、さらなる「健康経営」を推進します。

「多様性」の取組みの一環として、当社ではお客様一人ひとりのライフスタイルに寄り添い、時短や時産を応援する商品づくりに取り組んでいます。こうした考えから、超薄型・省スペース設計で使い勝手のよい「たためるつっぱりラダー物干し」を新たに発売しました。シンプルで美しいデザインも好評をいただいております。お客様の困りごとを解消し、くらしを豊かにする商品のひとつになっています。

「自然環境」では、お客様のくらしを環境にやさしく心地よいものにするため、メーカーである東洋紡エムシー株式会社と共同で、「プレスエアー[®]」使用敷布団の回収リサイクルプログラムを初めて実施しました。回収した敷布団は、同社が水平リサイクル型の素材として再生し、当社で再生商品化を実施する予定です。

今後も「サステナビリティビジョン2030」に基づいた事業活動を通じて社会課題を解決し、お客様とともに“よりのしい暮らし”を創出しながら、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

2025年8月
株式会社dinos

代表取締役社長 **加藤 浩輔**

サステナビリティビジョン2030

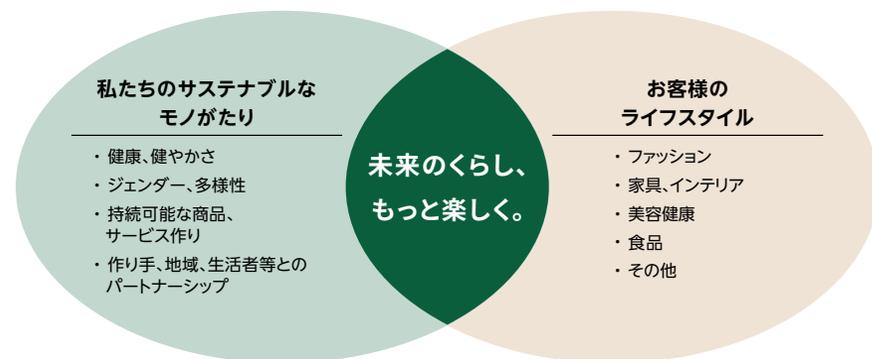
サステナブルなモノがたりで、
未来の暮らし、
もっとたのしく。

株式会社 dinos は、お客様とともに「好き」に満ちた楽しい暮らしを創造・共有していくため、様々な社会・環境課題に取り組み、持続可能な未来の実現に貢献しながら、企業としての成長を目指します。



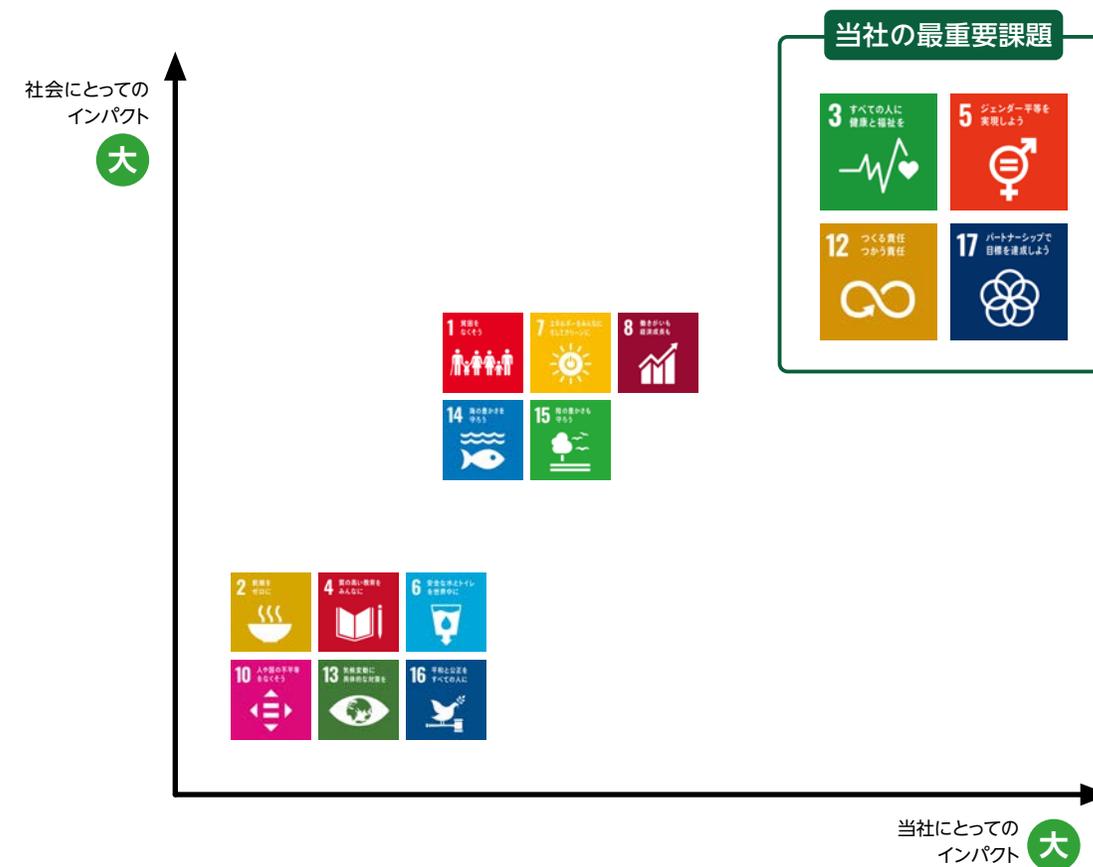
▶ サステナビリティビジョンの取組み方[2025年1月改訂]

- ー当社が考える“これからの社会・創りたい未来”の姿について、SDGsと同様に2030年に向けて「サステナビリティビジョン2030」として2021年4月に掲げ、全社でその実現を目指しています。
- ー当該ビジョンでは、「健やかさ」「多様性」「自然環境」を重点領域と位置付け、それぞれ設定した具体的な目標計画(定量・定性)のもと取組みを推進してきました。そのうち、「自然環境」の温室効果ガス削減目標については、2024年度分から「2013年対比でスコープ1・2が2030年に50%削減、2050年までにカーボンニュートラル実現」へ変更することとしました。当社は株式会社フジ・メディア・ホールディングスのグループ会社として同社の「TCFD提言に基づく情報開示」の対象となっていることも踏まえて、同社の削減目標と歩調を合わせ、引き続き取組みを進めてまいります。
- ー健康経営及びダイバーシティ&インクルージョンなど、従業員に関わるコミットメントに対しては、健康要因に関する多角的かつ複数の指標や、D&Iに対する従業員理解度、業務上の意思決定を行うキーポジションの女性社員比率等を指標としています。
- ー当該ビジョン実現に向けた推進体制として、社内にサステナビリティ委員会を設置しています。同委員会は代表取締役をはじめ役員を含むメンバーで構成され、マテリアリティに基づく重点領域を中心として、サステナビリティに関する全体計画の立案、進捗状況の把握、達成状況の評価等を行っています。また、同委員会には3つの分科会(商品・脱炭素・ウェルビーイング&ダイバーシティ)も設置し、それぞれの分野において様々な取組みを推進しています。
- ー取組みを進めるにあたり、公的ガイドラインや社会的視点を促す第三者との連携や、そこからの評価を得ることを検討していきます。
- ー社会・環境に与える影響をよりよい方向へとつなぐ、商品・サービス、事業活動を通して、お客様とともに“よりたのしい暮らし”を生み出していきます。



▶ 当社のマテリアリティ(最重要課題)

社内ヒアリングに基づいて洗い出した、SDGs(Sustainable Development Goals)の17ゴール・169ターゲットに関わるような当社事業活動について、社会にとってのインパクトと当社にとってのインパクトで評価し、それら影響の大きさについて2軸で表した、マテリアリティマップ上に15のSDGsゴールを分類しました。そのうち、「3(すべての人に健康と福祉を)」「5(ジェンダー平等を実現しよう)」「12(つくる責任つかう責任)」「17(パートナーシップで目標を達成しよう)」の4つを当社にとっての最重要課題としています。



▶ サステナビリティ上の3つの重点領域

マテリアリティのうち4つの最重要課題をもとに、「健やかさ」「多様性」「自然環境」を、当社がサステナビリティ上で取り組むべき重点領域と設定しました。
この3領域を中心に、社会や環境をより良い方向へとつなぐ当社の商品・サービスや事業活動を通して、お客様とともに“よりのしいくらし”を生み出していきます。

「健やかさ」を広げる

日々の暮らしにおける身体と心の健やかさが、自然と広がっていくきっかけを作り続けます。

「多様性」を応援する

多様な価値観や立場などを踏まえ、女性をはじめ様々な方々のより良い暮らしを後押しします。

「自然環境」を持続可能にする

たのしく豊かなくらしのために、すべての事業活動において、自然環境保全につながる取組みを推進します。

取組みテーマ

健やかなくらしを良質に

健やかな日常に丁寧に寄り添いながら、心地よさ、彩り、楽しさといった、毎日を豊かにする+αも織り込んでいきます。

アクションのキーワード

インナービューティー オーガニック

エルゴノミクス

つながり／コミュニケーション

より人生を長く健康に

人生100年時代に、老若男女が健康で充実した日々を長く送れるようにするためのサポートをします。

アクションのキーワード

運動 免疫力 眠り

美容 リカバリー／コンディショニング

取組みテーマ

自分らしさをすべての人に

すべての人が、自分らしく誇りをもって暮らせる世の中に向けて、一人ひとりのライフスタイルを整えるお手伝いをしていきます。

アクションのキーワード

女性の応援 時間と余暇(時短、時産)

解放(既成の役割からの)

ジェンダーフリー／ジェンダーレス

年齢を重ねる喜びを演出

それぞれの人が、自分らしく年齢を重ねていく足取りに、様々な喜びや楽しさを加える提案をしていきます。

アクションのキーワード

パーソナルエイジング

エイジレス／エイジフリー

セルフケア 介護支援

取組みテーマ

より自然環境にやさしいくらしへ

日々の暮らしを、商品やサービスを通じて、自然環境にやさしく、持続可能にしていくお手伝いをします。

アクションのキーワード

資源効率／サーキュラーエコノミー

水効率 汚染防止 生物多様性

CO2排出削減と再生可能エネルギー

責任ある紙の使用

通販事業者として責任ある紙の使用により、環境への影響の低減を追求します。

アクションのキーワード

紙使用効率

環境に配慮した用紙・印刷方法

こころを穏やかに

毎日を、あるいは特別な日を、よりゆったりと、より穏やかな気持ちで過ごせるようにする、様々なアイテムやサービスをお届けします。

アクションのキーワード

安心 リラックス 緑・自然

香り いたわり

お客様のために、私たちも健康に

お客様の健康に貢献するためにも、私たち一人ひとりが心身ともに健康であることを目指します。

アクションのキーワード

健康要因 健やかな職場

ワーク・エンゲージメント

弱い立場にある方に寄り添う

人を取り巻く課題に向き合い、様々な活動に継続的に取り組めます。

アクションのキーワード

災害 貧困

組織をより多様に

多様性を尊重し、誰もがその能力や個性をより持続的に発揮できる組織を目指します。

アクションのキーワード

人事・採用 働き方 組織文化

ダイバーシティ&インクルージョン

気候変動の緩和に向けて

世界共通の課題である、気候変動緩和のため“脱炭素”に向け、自社及びサプライチェーンにおける取組みを進めます。

アクションのキーワード

エネルギー効率 再生可能エネルギー利用

カーボンニュートラル

サステナビリティビジョン2030 2024年度取組み状況

▶ 全社的な取組み

当社は、お客様とともに“よりのたのしい暮らし”を創造・共有していくため、「サステナビリティビジョン2030」の実現を目指し、様々な取組みを推進しました。

• 当社コーポレートガバナンス体制の一部としてのサステナビリティ委員会

ビジョン実現に向けた推進体制として、社内にサステナビリティ委員会を設置しています。同委員会は代表取締役をはじめ役員を含むメンバーで構成され、マテリアリティに基づく重点領域を中心として、サステナビリティに関する全体計画の立案、進捗状況の把握、達成状況の評価等を行っています。また、分科会は商品・脱炭素・ダイバーシティ & ウェルビーイングの3つとし、それぞれの分野において様々な取組みを推進しています。



• サステナブルな商品に目印

一目でわかるカテゴリやマークを掲載開始

ディノスの顔のひとつである「ファッション」。お客様がサステナブルな商品を見つけやすいよう、オンラインショップのファッショントップページにあるカテゴリ内に、「サステナブルファッション」を追加しました。また、30~40代女性をターゲットに、「心地よさ」と「上質さ」を併せ持つリアルクローズを展開するブランド「So close.」では、カタログ2024年盛夏号でサステナブル特集を企画し、素材や製法の違いを紹介。さらに同年秋冬号のカタログから、オリジナルマークの使用を開始しました。サステナブルとおしゃれの両立が叶う商品企画はもちろん、お客様視点のわかりやすい売り場づくりにも力を入れています。



オンラインショップに追加した新カテゴリ



「So close.」カタログ2024年盛夏号のサステナブル特集



「So close.」のカタログでサステナブル商品につけているマーク

• 奨学生応援プロジェクトを継続し、未来を担う若者を応援

2024年2月より、京王電鉄、京王不動産とともに、奨学金を受給する学生の経済的課題解決貢献を目的に、「奨学生応援プロジェクト」を実施しています。当社は新品家具レンタルサービス「フレクト」の返却家具の中から、状態の良いものを無償提供。2024年は11名の方に奨学家具をお届けしました。



提供する家具は2種類。マットレス付き折りたたみベッドまたはデスクとチェアのセット

• 新入社員サステナビリティ研修など社内コミュニケーションを推進

社内においてより一層、「SDGs」「サステナビリティ」や当社のサステナビリティビジョンへの理解向上を目指し、新入社員を対象としたサステナビリティコミュニケーションを考える研修プログラムを開催しました。その他、社内報による各種情報発信やe-ラーニングの実施など、サステナビリティに関する様々な社内コミュニケーションを推進しました。

2030年コミットメントの進捗状況

「サステナビリティビジョン2030」では、3つの重点領域にそれぞれ3つもしくは4つの取組みテーマを設定しており、それらに対して2030年目標(定量・定性)を掲げております。これらのコミットメント進捗状況については、毎年度、当サステナビリティレポートにおいてご報告させていただきます。なお、ビジョン策定から一定期間が経過したことを踏まえ、2025年1月に重点領域「自然環境」を持続可能にするに関する目標計画の一部改訂を行いました。

重点領域:「健やかさ」を広げる		3 全ての従業員が健康に働き続けよう		17 心身ともに健康な働き方を推進しよう	
日々の暮らしにおける身体と心の健やかさが、自然と広がっていきつなげを作り続けます。					
取組みテーマ	2030年コミットメント	2024年度実績			
健やかな暮らしを良質に	健やかな日常に丁寧に寄り添いながら、心地よさ、彩り、楽しさといった、毎日を豊かにする+αも織り込んでいきます。	お客様のウェルビーイングを高めるために、健やかさを広げる商品・サービス・情報を提供します。		「健やかさ」を広げる商品等に関するレポートはP10~11	
より人生を長く健康に	人生100年時代に、老若男女が健康で充実した日々を長く送れるようにするためのサポートをします。				
こころを穏やかに	毎日を、あるいは特別な日を、よりゆったりと、より穏やかな気持ちで過ごすようにする、様々なアイテムやサービスをお届けします。				
お客様のために、私たちが健康に	お客様の健康に貢献するためにも、私たち一人ひとりが心身ともに健康であることを目指します。	健康要因を様々な指標に基づいて多角的に捉え、従業員が心身ともに健やかで、それぞれの能力が十分に発揮できる状態を実現します。	定期健康診断受診率 … 99.7% (2030年目標:100%)	ストレスチェック受検率 … 89.4% (2030年目標:100%)	運動習慣比率* … 26.0% (2030年目標:70%、1週間に30分以上の運動を2回)
			喫煙習慣比率* … 17.1% (2030年目標:0%)	* 2023年度実績を2024年度に報告	

重点領域:「多様性」を応援する		5 全ての従業員が活躍できる働き方を推進しよう		17 心身ともに健康な働き方を推進しよう	
多様な価値観や立場などを踏まえ、女性をはじめ様々な方々からより良い暮らしを後押しします。					
取組みテーマ	2030年コミットメント	2024年度実績			
自分らしさをすべての人に	すべての人が、自分らしく誇りをもって暮らせる世の中に向けて、一人ひとりのライフスタイルを整えるお手伝いをしていきます。	お客様の自分らしくいきいきとした暮らしを実現するために、多様性を応援する商品・サービス・情報を提供します。		「多様性」を応援する商品等に関するレポートはP12~13	
年齢を重ねる喜びを演出	それぞれの人が、自分らしく年齢を重ねていく足取りに、様々な喜びや楽しさを加える提案をしていきます。				
弱い立場にある方に寄り添う	人を取り巻く課題に向き合い、様々な活動に継続的に取組みます。				
組織をより多様に	多様性を尊重し、誰もがその能力や個性をより持続的に発揮できる組織を目指します。	全従業員がダイバーシティ&インクルージョンを理解し、お互いを尊重し合い、一人ひとりが活躍できる職場を実現します。	eラーニングの受講率 … 85.0% (2030年目標:100%)	33.3%	
		業務上の意思決定を行うキーポジションの女性社員比率を、2030年までに50%以上にします。			

重点領域:「自然環境」を持続可能にする		12 消費活動を通じて社会に貢献しよう		17 心身ともに健康な働き方を推進しよう	
たのしく豊かなくらしのために、すべての事業活動において、自然環境保全につながる取組みを推進します。					
取組みテーマ	2030年コミットメント	2024年度実績			
より自然環境にやさしく暮らし	日々の暮らしを、商品やサービスを通じて、自然環境にやさしく、持続可能にしていくお手伝いをします。	お客様の暮らしをより環境にやさしく心地よいものにするために、自然環境を持続可能にする商品・サービス・情報を提供します。		「自然環境」を応援する商品等に関するレポートはP14~16	
責任ある紙の使用	通販事業者として責任ある紙の使用により、環境への影響の低減を追求します。				
気候変動の緩和に向けて	世界共通の課題である、気候変動緩和のため“脱炭素”に向け、自社及びサプライチェーンにおける取組みを進めます。	お客様の紙媒体における紙使用効率を、2030年には50%向上させます(2019年対比)。	できる限り環境に配慮した用紙・印刷方法の採用を推進します。	敷布団のリサイクルプログラムやカタログ回収試験の実施(P14~15)	目標達成 58.9%
				カタログの一部で、環境負荷低減となるベジタブルオイルインキを採用	スコープ1・2 39.7%削減

*「気候変動の緩和に向けて」の2030年コミットメントは、2024年度分より上記に変更。なお、スコープ3は目標化せず、該当カテゴリの実績を開示。

取組みテーマ より人生を長く健康に／こころを穏やかに

着るだけで疲労回復をサポートする リカバリーウェア

当社は「リカバリー」や「コンディショニング」をキーワードにした商品・サービスを提供することで、お客様の健やかな暮らしをサポートしています。

たとえば、企画商品の着るだけで血行促進するカップ付きインナー「recobalance (リカバランス)」。温泉から生まれた「IFMC (イフミック)」を加工しているため、身体が温まり、血行促進効果が期待できます。また、優れたストレッチ性、体に寄り添うやさしい補整で、24時間着用可能。さらに、背中のクロスベルトが肩甲骨を寄せて美しい姿勢をサポートするので、自然と胸がひらくことによりボディラインが整います。

そのほか、遠赤外線による血行促進作用により、疲労回復や筋肉のコリを改善が期待できる、リカバリーウェア「VENEX (ベネクス)」を取り扱っています。着心地がよく、部屋着のような印象を払拭したスタイリッシュな一着です。

「健やかさ」を 広げる

2024年度も、身体と心の
健やかさ広がるような
様々な商品を提供しました。



カップ付補整インナー「recobalance (リカバランス)」



「リカバリーウェアを、
もっと日常の暮らしの中に。」を
コンセプトにした、
「VENEX (ベネクス)」の
リカバリーデイズシリーズ

「健やかさ」を広げる

取組みテーマ 健やかな暮らしを良質に

有機栽培など農法にも注目 安全で健やかな食生活を提案

当社の食品部門には「7つのお約束」があり、「美味しいがいちばん」「作り手が見える食品を」などのこだわりを掲げています。そのひとつが「有機JAS認定食品や特別栽培農産物を積極的にご紹介」することです。たとえば、島根県にある「茶三代一（ちゃさんだい）」の有機煎茶・紅茶を提供しています。栽培期間中に化学合成農薬や化学肥料を使用せず、自家製堆肥のみで育てられています。今後もお客様の食生活がより健やかで豊かなものになるよう、私たちはこだわりの栽培方法や作り手の思いにもスポットを当て商品を厳選していきます。



「茶三代一」は基本理念「人と地球にやさしいお茶づくり」を掲げています

茶葉の生産者は自家製の植物性堆肥を使い、丹精込めて育てています

取組みテーマ 健やかな暮らしを良質に

内からなる健やかな美しさを目指す 独自素材LPS^{*1}配合のコスメを提案

オリジナルコスメブランド「イミニ」では、生活環境やストレスに左右されず、何歳になっても美しく、健やかであるために、独自開発したパントエア菌LPS^{*1}配合のスキンケアやコスメを提案しています。不調を抱える肌や敏感肌のためのLPS^{*1}高濃度^{*2}美容液や透明ツヤ肌に仕上げるパウダーなど、多彩な商品を展開するイミニがこだわるのは自然由来であること。毎日お使いいただくものだからこそ「肌に不要なものは配合しない」ことを大切に、製品の配合成分にこだわった商品開発を行っています。

^{*1} パントエア/コメカカ発酵エキス液(保湿成分) ^{*2} イミニ内



LPS^{*1}高濃度^{*2}美容液「ファイン100」と自然に美しく見せてくれる「ブライトアップパウダー」

取組みテーマ お客様のために、私たちが健康に

運動習慣向上のため ウォーキングアプリを導入

当社はおお客様の健康に貢献するためにも、私たち一人ひとりが心身ともに健康であることを目指しています。2024年度は社員希望者を対象に、健康増進アプリ「Vitality」を導入しました。歩数に応じてポイント換算され、1週間の目標ポイント数をクリアするとドリンクチケットなどを獲得できます。開始2カ月で社員の約4割となる158名が参加し、自発的な健康増進活動に取組みました。今後も継続し、更なる利用促進策を検討していきます。



Vitality健康プログラムは、ウォーキングなど健康増進の取組みによる目標達成に応じてさまざまな特典が獲得できます

- ・記載内容は自社の福利厚生制度を記載したものであり、保険募集を目的としたものではありません。
- ・Vitality健康プログラムの内容は2024年7月現在のものであり、将来変更になる可能性があります。



ディソロジスティクスセンター東京で開催した健康チェックイベントの様子



経済産業省及び日本健康会議が実施する「健康経営優良法人2024」に選定

取組みテーマ お客様のために、私たちが健康に

すべての従業員が活躍できる 快適な職場づくりを推進

当社は、従業員が快適な環境で健やかに働ける「健康経営」を推進しています。2024年度は社員や派遣スタッフ、関連・協力会社スタッフの希望者を対象に、健康チェックイベントを実施。野菜摂取状況が分かるベジチェックや動脈硬化の度合いが分かる血管年齢、肌質測定などを行い、生活習慣を振り返る機会を創出しています。そのほか、「well-being通信」を毎月発行するなど、様々な社内啓発活動を行っています。

また、2024年度も「健康経営」に関する取組みが評価され、健康経営を実践する企業を顕彰する制度「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に5年連続で認定されました。

取組みテーマ 自分らしさをすべての人に

くらしに潜む不便さを解消 企画商品の室内物干しを新発売

当社は、すべての人が自分らしく誇りをもって暮らせる世の中を目指し、お客様一人ひとりのライフスタイルを整えるお手伝いに取り組んでいます。そのひとつが日々のくらしや家事に潜む不便さや手間などを解消し、時短を叶える商品開発です。

壁際に突っ張って設置する「たためるつっぱりラダー物干し」は使いやすいさとデザインにこだわった、超薄型・省スペースの物干しです。使わない時はパーユニットをワンタッチで畳むことができ、部屋になじんでインテリアの邪魔になりません。

ロングセラーの室内物干しを改良した「瀧本真奈美さんとつくったマキシ丈ワンピースも干せるステンレス製室内物干し」は、使う人の視点でデザイン。マキシ丈ワンピースが余裕で干せる高さで設計し、出し入れる際に何度もかがまなくて済むようストッパーなしでも固定できるように改良しました。

「多様性」を 応援する

多様な価値観や立場を踏まえ、
お客様のよりよいくらしの後押しや
従業員の誰もが能力や個性を發揮できる
組織づくりに取り組んでいます。



「たためるつっぱりラダー物干し」はリビングや洗面所のデッドスペースを有効活用できます



くらしアドバイザー・瀧本真奈美さんと「本当にほしい物干し」をテーマにつくった、「ステンレス製室内物干し」

「多様性」を 応援する

取組みテーマ 年齢を重ねる喜びを演出

加齢による身体の変化を ポジティブにサポートする商品を提案

当社は自分らしく年齢を重ねていくために、喜びや楽しさを大切にした商品提案を行っています。

例えば、「加齢によって手元が見えにくい」という悩みに対してご提供しているのが、視界もかげ心地も快適な老眼鏡「ミエルPro」です。一つのレンズの中に複数の度数が入っており、レンズ中央から外側に向かいなめらかに度数が変化する「累進多焦点レンズ」を採用しているため、幅広い距離に焦点が合いやすく、自然な視界とスムーズな視線移動が可能。また、日常から外出時までおしゃれに着用できる高級感のあるフレームで、気持ちも上がるデザインが魅力です。



掛けたままでも違和感のない視界を実現する「ミエルPro」



取組みテーマ 組織をより多様に

全従業員がやりがいと成長を感じられる 職場環境を目指しています

当社では、ともに働く仲間の多様性と個性を尊重しながら、一人ひとりの能力が発揮できる職場づくりを目指しています。

2024年度は従業員一人ひとりがキャリアを自律的に考えることを目的にした「外部キャリア面談サービス」の導入や管理職登用を控えた女性社員を対象とした異業種交流型研修「エンパワーメントカレッジ」に参加。また、D&Iに取り組む企業を認定する「D&I Award 2024」では、昨年に続き最高位である「ベストワークプレイス」を獲得しています。そのほか、従業員の子育て支援に対して高い水準の取組みを行っている企業として、厚生労働省による特例認定「プラチナくるみん」を継続して取得。育休取得率は昨年に引き続き男女ともに100%となりました。



取組みテーマ 弱い立場にある方に寄り添う

世界の子どもたちや作り手の支援など 社会貢献活動に継続参加

長年、通販カタログの売上の一部を、世界で貧困に苦しむ子どもたちなどを支援する活動に寄付しています。

2024年度は新たに、ファッションブランド「DAMA Premium」秋冬号の売上の一部を、「エモン カシミア プロジェクト」へ寄付しました。同ブランドはカシミア山羊など家畜のケアに取り組む「モンゴルカシミア」を原料とした洋服を販売しており、寄付金はカシミアを生産する東モンゴル地区の遊牧民、自然環境、産業の支援に使われます。



東モンゴル地区のようす

〈2024年度寄付先一覧〉

寄付先	寄付概要
認定NPO法人 国連WFP協会	子どもたちの学校給食支援に寄付
一般社団法人 more trees	植林や間伐・枝打ちなど森林保全活動に寄付
東モンゴルプロジェクト TECO FIELDS CO.,LTD.	原料を生産する生産者の労働環境や環境保護の支援活動に寄付
東京都町田市	災害時の感染症対策として非接触型体温計600本を寄付
神奈川県相模原市	学校保健事業として非接触型体温計360本を寄付



「自然環境」を 持続可能にする

限りある資源を大切に活かし、
持続可能な社会の実現に
取り組んでいます。

取組みテーマ より自然環境にやさしくらしへ

「ブレスエアー®」使用敷布団を回収。 循環する資源として新たな商品へ

当社は2024年度、「ブレスエアー®」敷布団の回収リサイクルプログラムを、メーカーである東洋紡エムシー株式会社と共同で初めて実施しました。ディノスで同商品を過去購入したお客様のうち、新たに同シリーズ商品を購入する方を対象に、使用済み商品を回収。1カ月でシングルサイズ58枚を販売し、48枚を回収しました。回収した敷布団は、同社が水平リサイクル型の素材として再生し、当社で再生商品化を実施する予定です。

今後も「循環」という価値をお客様とともに共有しながら、持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。



リサイクルプログラムイメージ図
(東洋紡エムシー株式会社提供)



「ブレスエアー®」敷布団の
シングルサイズ

取組みテーマ より自然環境にやさしくらしへ

豊かな自然を未来へつなげるため、 国産材を使った家具を企画

当社は、自然環境保全や林業の活性化につなげていくことを目的に、2011年頃よりさまざまな国産材家具を企画・販売しています。2024年度は北海道や岐阜県にある産地とコラボした家具3点が、「ウッドデザイン賞2024」※1の「ライフスタイルデザイン部門」において、「ウッドデザイン賞」を受賞しました。



受賞した商品のひとつ「国産東濃檜の天然木頑丈ラック」

※1 一般社団法人ウッドデザイン協会が主催。木を使って様々な社会課題を解決するモノ・コトを表彰し、国内外に発信するための顕彰制度。

「自然環境」を 持続可能にする

取組みテーマ より自然環境にやさしくらしへ/
気候変動の緩和に向けて

環境にやさしい素材を使用し、 サステナブルでエレガントな装いを提案

当社のファッション部門ではオーガニック認証素材や再生素材を使用した商品の提案を積極的に進めています。

ブランド「So close.」が2024年度に新発売した「はっ水吸湿発熱保温 ウール混中わたコート」の中わたには高品質のウール80%のほか、使用済みの素材からリサイクルした「ポリ乳酸」を使用。ポリ乳酸は、石油ではなく植物を原料とするプラスチックで、使用後は一定の条件で水とCO2に分解され自然に戻る、生分解性をもつサステナブルな材料です。また、2024年7月より、ファッションの発送・梱包時に使う不織布カバーを、トウモロコシ由来のPLC(生分解性プラスチック)に変更。今後もカーボンニュートラルの実現に貢献する取組みを続けていきます。



「はっ水吸湿発熱保温
ウール混中わたコート」

植物を原料とする
プラスチック「ポリ乳酸」

取組みテーマ より自然環境にやさしくらしへ

一束ずつ簡単に取り分けられる シェアアレンジを新発売

卒業式やイベントなどお祝いごとで送られるフラワーアレンジメント。その場は華やかになるものの、イベントが終了すれば大きなアレンジは持ち帰られず、廃棄されるケースもあります。そこで、当社が運営する「フジテレビフラワーネット」では、2024年度「春の御祝シェアアレンジ」を期間限定で発売しました。一見すると大きなアレンジメントですが、実は小ぶりの10束の花束でできています。飾ったあとは手軽に分けることができ持ち帰りやすく、お祝いの気持ちと大切なお花を最後まで楽しむことができます。



10束の小ぶりな花束に分けられます

お届け時はひとつの
アレンジメント

取組みテーマ 責任ある紙の使用

不要なカタログをリサイクル 新たな資源回収プログラム試験を実施

当社は2024年度、運営する通販ブランド「ディノス」のお客様に配布したカタログのうち、不要なものを店舗回収する試みを実施しました。お客様に自社のショールーミングストアやアウトレット店舗に持ち込んでいただき、3カ月の期間限定で416部を回収。回収物はカタログ用紙調達先である株式会社日本製紙が運用する「クローズド・ループ」形式で、新たにカタログ用紙としてリサイクルし、使用しています。この取組みを通じ、大切な資源である古紙を長期的かつ安定的に印刷用紙の原料として循環させることを目指しています。



再生された紙は、ディノスのカタログ用紙として採用しています

取組みテーマ 気候変動の緩和に向けて

町田市より「2024年度まちだ3R賞」受賞。 廃棄物の減量やリサイクルに取り組んでいます

当社は「CO2排出量(スコープ1・2)を2030年までに50%削減(基準年2013年)」と「2050年までにカーボンニュートラル実現」を目指しています。オフィスフロアの有効活用や空調設備の整備などにより、スコープ1・2^{※1}・^{※2}は2024年度39.7%減(基準年度比)となりました。また、サプライチェーンを通じたCO2排出量削減の重要性を認識し、スコープ3^{※3}も実績の把握と削減に取り組んでいます。

2024年度、物流倉庫のディノスロジスティクスセンター東京(東京都町田市)は、2年ぶり2回目となる「2024年度まちだ3R賞」を受賞。事業系一般廃棄物に関して、減量やリサイクルなどの処理に積極的かつ組織的に取り組んでいることが評価されました。

2024年度 CO2排出量(スコープ3) / 単位CO2・トン

カテゴリ1	購入した製品・サービス	55,430.0
カテゴリ4	上流の輸送、配送	6,302.2
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	170.8
カテゴリ6	出張	93.6
カテゴリ7	雇用者の通勤	110.3
カテゴリ11	販売した製品の使用	12,206.1
カテゴリ12	販売した製品の使用者による廃棄	今後試算予定
合計		74,313.0

※ 次のカテゴリは算外。カテゴリ2(資本財)、3(スコープ1,2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動)、8(上流のリース資産)、9(下流の輸送、配送)、10(販売した製品の加工)、13(下流のリース資産)、14(フランチャイズ)、15(投資)

※1 燃料消費に伴う排出量(直接排出)
※2 購入した電力・熱の使用に伴う排出量(間接排出)
※3 その他の間接的な排出量



「自然環境」を持続可能にするための取組みとして、2023年度より、長野県木曾町・開田高原で「ディノスの森」づくりに取り組んでいます。音楽家の坂本龍一さんが創立した、森林保全活動に取り組む「一般社団法人more trees」とともに、様々な広葉樹の苗木を植栽し、多様性のある森づくりを進めています。



長野県木曾町・開田高原



長野県南西部に位置し、総面積の90%が山林だという木曾町・開田高原に「ディノスの森」があります。山々に囲まれた木曾町は、古くから「木曾ヒノキ」に代表される銘木の産地として知られており、林業や木工製品の生産が盛んな場所です。そして標高1,000m以上に広がる開田高原は夏でも冷涼な気候で、山々や川に恵まれた美しい自然の広がるエリアです。

2年目の植林状況とCO2吸収量

木曾町では人工林の林齢が高齢化し、林相転換(森林の状態を人為的に変えること)が求められており、今回の取組みによってヒノキの単一林から、「多様性のある森」への転換を目指しています。

2024年度分の植林は2025年5月に行いました。地元の木曾森林組合の皆さんの手によって1本1本植えられたのはホオノキ、ミズメ、シラカンバ、キハダ、ケヤキ、ミズナラ、カツラ、サワグルミの計8種940本の広葉樹の苗木。過去2回の植林と合わせると、計3,173本となりました。また、林野庁が提供する「森林による二酸化炭素吸収量の算定方法」に基づいて算定した結果、2024年度末時点で当植林活動によるCO2吸収量は4.1t-co2となっています。



2025年5月の植林の様子



2025年に植林したサワグルミの苗



当社スタッフが植林を体験(2024年11月)

初となる生育調査で、最適な植林時期を確認

2024年11月には、専門家による生育状況調査を行いました。生育は悪くはないものの、過去2回の植林はタイミングが遅く、根が着く前の乾燥によって枯れにつながった可能性があることを確認。今後は最適な時期に合わせ、植林を行っていきます。

お客様のクチコミ数が、森づくりの応援につながっています

お客様が投稿したご購入商品のクチコミ数を、「ディノスの森」づくりの応援数として換算。目標の年間30,000件を達成すると、ディノスがお客様に代わり、次年度の植林を行います。2023年11月から開始した本取組みは2024年8月に目標応援件数に到達したことから、次回の植林に向け準備を進めています。

未来につながる、森づくり。「ディノスの森」 https://www.dinos.co.jp/forest_s/

一般社団法人more trees *moreTrees* <https://www.more-trees.org/>

株式会社 dinos

サステナビリティレポート 2024

株式会社dinos
<https://dinos-corp.co.jp/>
2025年8月発行

